

令和3年度特定非営利活動法人ひと・まちねっとわーく事業報告書

1 事業概況

令和3年度は、定款に定めた5つの柱を基に、事業計画を行いました。

しかしながら、昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の蔓延により、多くの事業を変更又は中止せざるを得ませんでした。

一方、事業を実施するにあたっては、国や県からの通知を参考に3つの密(密閉、密集、密接)を避け、さらには検温及び消毒等の感染予防の徹底を図って実施しました。

指定管理施設である県南生涯学習センターについては、新型コロナウイルス感染症対策による休業措置はありましたが、日程の変更等を行い事業全て実施しました。また、白浜少年自然の家においても、利用者が大幅に減少しましたが、一部の事業を除き実施しました。

社会教育推進事業については、学校でのGIGAスクール構想によりICT環境の整備が急速に進み、その課題に対応するため、日本デジタル・アーキビスト資格認定機構養成機関としての認定を受け、「ひと・まちねっとわーく準デジタル・アーキビスト資格取得講座」を実施しました。

子どもの健全育成事業については、放課後子ども教室を水戸市で8校増え20校及び大子町では6校全ての学校で実施しました。また、「いばらき子ども大学」及び「ひと・まち子どもプログラミング教室」は、一部中止をしましたが、徹底した感染予防の中で実施いたしました。

学習・支援事業については、新たに茨城県委託事業として茨城町が加わり、大子町、桜川市、小美玉市及び那珂市の5市町で実施しました。

2 事業実績

事業名・概要	事業内要
1 社会教育の推進事業 社会教育に関する様々な事業の実施 (3,664,853円)	(1) 「いばらき教育の日」「いばらき教育月間」推進活動 ア みんなで教育を考える「いばらき教育の日」推進協議会が終了し、活動が終了した。 イ 「朗読とピアノで織り成すファンタジー」 (子どもの健全育成事業再掲) (2) 「茨城しぐさ」運動の推進 茨城しぐさ推進実行委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。 (3) 茨城県生涯学習・社会教育研究会との協働による事業の実施 研修会の開催 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止 (4) 関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会への参加 期日:10月1日～11月30日 オンデマンド配信(第1部) 講演:「社会教育とコミュニティデザイン」 講師:studio-L山崎 亮氏 期日:10月16日 オンデマンド配信(第2部) オープニング、事例発表、クロージング 参加者、第1部443名、第2部219名 (5) 日本デジタル・アーキビスト資格認定機構との連携 ア 日本デジタル・アーキビスト資格認定機構養成機関認定(2021年6月14日)

	<p>イ ひと・まちねっとわーく準デジタル・アーキビスト資格取得講座の実施 実施日:令和4年2月27日(日) 会場等:①オン・ライン②県南生涯学習センター③白浜少年自然の家 ④ひと・まち事務局 参加者:社会人46名、学生1名</p>								
<p>2 まちづくりの推進事業</p> <p>地域の活性化を図るために、地域資源を発掘・開発をしながら生涯学習のまちづくりを支援</p> <p>(100,000円)</p>	<p>(1) 地域のつながりによるまちづくり支援事業への参加 ア 那珂市額田地区にある「ぬかだの子どもを守り支える会」の活動に対して、連携協力した。</p> <p>イ 「いきいき うたごえサロン」の開催 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止</p> <p>(2) まちづくり推進に関する生涯学習イベントへの参加 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため不参加</p> <p>(3) 「地域活動推進支援事業」として、地域で活躍している団体、グループに対して、1団体につき10万円を助成し、協働して団体等の活動の活性化を図った。 助成対象:1団体</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" data-bbox="555 1039 1385 1182"> <thead> <tr> <th>団体又はグループ名</th> <th>事業名</th> <th>事業種類</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ぬかだの子どもを守り支える会</td> <td>ふれあい・向き合い・結び合いスポレクで多世代交流</td> <td>地域活動推進事業</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	団体又はグループ名	事業名	事業種類	補助金額	ぬかだの子どもを守り支える会	ふれあい・向き合い・結び合いスポレクで多世代交流	地域活動推進事業	100
団体又はグループ名	事業名	事業種類	補助金額						
ぬかだの子どもを守り支える会	ふれあい・向き合い・結び合いスポレクで多世代交流	地域活動推進事業	100						
<p>3 男女共同参画社会の形成促進事業</p> <p>仕事と仕事以外の生活を調和させ、性別、年齢を問わず、誰もが働きやすい仕組みづくりの啓発</p> <p>(0 円)</p>	<p>(1) 「男女共同参画推進支援事業」として、地域で活躍している団体、グループに対して、1団体につき10万円を助成し、協働して団体等の活動の活性化を図るものであるが、助成希望がなかった。</p> <p>(2) チャレンジいばらき県民運動へ理事、県民活動推進員として参加協力。</p>								
<p>4 子どもの健全育成事業</p> <p>子育てに関する講演会や講座の開設、科学・製作教室の開設、放課後子ども教室の運営等による子どもの健全育成</p> <p>(50,132,591 円)</p>	<p>(1) いばらき子どもプログラミング教室の実施 ア スクラッチ講座 時期: 7月、10月～11月 回数:4回 参加人数:延べ179人 場所:地域交流サロン イ ロボットプログラミング講座 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止 ウ 放課後子ども事業等への出張体験講座 時期:通年 回数:計43回 場所:各放課後子ども教室 エ 出張体験講座 時期:6月、7月、10月 回数:3回 参加人数:47人 場所:笠間市内各公民館</p>								

オ 茨城新聞社主催プログラミング大会出場者相談日
 時期:7月～9月 回数:8回 延参加者: 8人
 場所:地域交流サロン

(2) 子どもデジタルアーキビスト講座
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止

(3) 「朗読とピアノで織り成すファンタジー」の実施
 期日:令和4年1月10日
 場所:県南生涯学習センター
 参加人数:305人

(4) いばらき子ども大学事業(県コンソーシアム事業)の実施
 県のコンソーシアム事業として、他のNPOと協力し「いばらき子ども大学事業」を実施した。
 担当:実行委員会事務局、県央キャンパス、鹿行キャンパス、県南キャンパス

① 県央キャンパス授業 (入学者数37人)

開設日	場所	テーマ及び講師
11月6日	茨城大学 水戸キャンパス 人文社会科学部 講義棟10番教室	洋菓子の世界 ～パティシエの取り組み～ 洋風笠間菓子グリユイエール 代表取締役 根本高行
11月20日	茨城大学 水戸キャンパス 人文社会科学部 講義棟10番教室	世界遺産について学ぼう 筑波大学 特別研究員 世界遺産マイスター 箴島 大悟
12月11日	茨城大学 水戸キャンパス 人文社会科学部 講義棟10番教室	茨城ロボッツ スポーツを通じた地域 創生について (株)いばらきスポーツタウン・マネジメント 代表取締役社長 川崎 篤之
1月8日	笠間市友部公民館 大ホール	クイズで学ぼう, 東京オリンピック・パ ラリンピック 筑波大学特命教授 真田 久

県央キャンパスサークル活動 (参加者10人)

開設日	場所	テーマ及び講師
12月29日	ひと・まちねっと わーく事務局1階 地域交流サロン (茨城県保健衛生 会館別館)	親子でロボットプログラミング体験 ひと・まちねっとわーくプログラミング 講師 小沼 希

※ 1月22日「チバニアンから学ぶ地球の歴史」(茨城大学理学部地球環境科学領域 岡田誠教授)、2月「新型コロナウイルスと、人類の戦い」(筑波大学医学医療系感染症内科学 筑波大学附属病院感染症科 鈴木広道教授・筑波大学附属病院看護部 感染管理認定看護師 堤徳正看護師長)
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止

② 鹿行キャンパス授業（入学者18人）

開設日	場 所	テーマ及び講師
7月3日	茨城県立 白浜少年自然の家	なりたい自分の創り方 ～シャッフルトークで自己実現～ 株式会社 燦 代表取締役 西村 雅司
7月23日	茨城県立 白浜少年自然の家	コケ学入門 ～道ばたの緑に隠されたひみつ～ ミュージアムパーク茨城県自然博物館 主任学芸員 鶴沢 美穂子
10月17日	茨城県立 白浜少年自然の家	絵本が描く自由でアートな世界 ポリフォニープレス合同会社 沢辺 満智子、多田 亮彦
10月24日	茨城県立 白浜少年自然の家	障害者スポーツとノーマライゼーション つくば国際大学医療保健学部 教授 鈴木 康文
12月11日	茨城県立 白浜少年自然の家	感染症・新型コロナウイルスについて 考えよう 茨城県立中央病院 感染管理認定看護師 宮川 尚美
1月8日	茨城県立 白浜少年自然の家	株式のしくみについて知ろう 野村ホールディングス株式会社 サステナビリティ推進室 佐藤 由紀、酒井 賢一
2月13日	茨城県立 白浜少年自然の家	安全に自動車に乗るために 日本自動車大学校 林 英伸、金井 亮忠、菊地 将臣

鹿行キャンパスサークル活動（参加者7人）

11月14日	茨城県立 白浜少年自然の家	ディクショナリーゲームに挑戦！ 茨城県立白浜少年自然の家 研修企画推進員 岡田 俊英
--------	------------------	--

③ 県南キャンパス授業（入学者70人）

開設日	場 所	テーマ及び講師
7月4日	県南生涯学習センター	SDGsがみんなを、そして世界をつなぐ！変える！ 茨城大学人文社会科学部 教授 蓮井 誠一郎
8月22日	県南生涯学習センター	人が想像できることは必ず実現できる ～プラスチックで病気を治す！？～ 国立研究開発法人 物質材料研究機構 スマートポリマーグループリーダー 荏原 充宏

9月26日	県南生涯学習センター	世界のきれいな花、不思議な植物 ～なぜひとつの植物が地球からなくなると 大変なの？～ 国立科学博物館 筑波実験植物園 名誉研究員 岩科 司
10月17日	県南生涯学習センター	地球は今、どうなっているの？ ～国際的な取り組みを学ぼう！～ 国立研究開発法人 国立環境研究所 社会システム領域 領域長 亀山 康子

- (5) 水戸市放課後子ども教室の運営(企業委託事業)
企業からの委託を受け、五軒小学校等20校、4地区で
放課後子ども教室を運営。(児童:330名参加)

ア 株式会社アンフィニ委託
(合同会社ひと・まちぶらす共催)

時期: 6月～3月 回数:各 30回

学校名	開設場所	参加人数
河和田小学校	河和田小学校	32
上中妻小学校	上中妻小学校	4
赤塚小学校	赤塚小学校	11
鯉淵小学校	鯉淵小学校	11
妻里小学校	妻里市民センター	10
内原小学校	内原小学校	30
国田義務教育学校	国田義務教育学校	39
飯富小学校	飯富小学校	28
渡里小学校	渡里小学校	8
石川小学校	石川小学校	36

イ シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社委託
(合同会社ひと・まちぶらす共催)

時期: 7月～3月 回数:各 30回

地区等	開設場所	参加人数
笠原小学校	笠原小学校	6
緑岡小学校	緑岡小学校	11

ウ 生涯学習倶楽部委託

時期：6月～3月 回数：各 30回

地区等	開設場所	参加人数
三の丸小学校	三の丸市民センター	15
五軒小学校	五軒小学校	8
城東小学校	城東小学校	8
浜田小学校	浜田小学校	19
上大野小学校	上大野小学校	12
下大野小学校	下大野小学校	13
稲荷第一小学校	稲荷第一小学校	17
稲荷第二小学校	稲荷第二小学校	12

(6) 大子町放課後子ども教室

大子町から委託を受け、町内の6つの小学校において、放課後子ども教室を運営。協働活動支援員、サポーター61名の協力を得て、263名の児童が多学年交流し、事故もなく、毎日元気に学習や創作・体験活動を行った。

学校名	活動内容	実施曜日	参加人数
だいが小学校	①スタディサポートタイム 宿題に取り組む時間	月曜日～金曜日 (祝祭日等は除く)	65
依上小学校	国語と算数のプリントに取り組む時間		60
さはら小学校	②エンジョイサポートタイム レクリエーション(折り紙、けん玉、など)、ゲーム(将棋、オセロなど)を行った。		26
生瀬小学校			31
袋田小学校	③フリータイム 体育館で行うスポーツ活動(ドッジボール、バトミントン等)や自由遊び、お絵描き		38
上小川小学校			43
合 計 (6校)			263

5 社会福祉の増進事業

社会教育と福祉を連携させた事業の推進並びに県・市町村が実施する事業の受託

(22,118,654円)

(1)

生活困窮世帯の児童生徒の学習支援事業の実施

茨城県、桜川市、小美玉市、那珂市から委託を受けて、生活困窮世帯の児童生徒を対象に、下記のとおり学習支援を行った。

ア 大子町学習支援(茨城県委託事業)

対象	期間	回数	延べ人数
小・中学生	R.3年4月～R.4年3月	29	200

イ 茨城町学習支援(茨城県委託事業)

対象	期間	回数	延べ人数
小・中学生	R.3年4月～R.4年3月	21	76

	<p>ウ 桜川市学習支援(桜川市委託事業)</p> <table border="1" data-bbox="555 188 1385 277"> <thead> <tr> <th>対 象</th> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>R.3年4月～R.4年3月</td> <td>34</td> <td>231</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 小美玉市学習支援(小美玉市委託事業)</p> <table border="1" data-bbox="555 322 1385 412"> <thead> <tr> <th>対 象</th> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小・中学生</td> <td>R3年6月～R.4年3月</td> <td>44</td> <td>141</td> </tr> </tbody> </table> <p>オ 那珂市学習支援(那珂市委託事業)</p> <table border="1" data-bbox="555 456 1385 546"> <thead> <tr> <th>対 象</th> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>R.3年4月～R.4年3月</td> <td>35</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 大子町放課後児童クラブ 大子町から委託を受けて、大子町立小学校の児童を対象に、下記の2カ所で行った。</p> <p>ア みなみ児童クラブ</p> <table border="1" data-bbox="555 734 1385 824"> <thead> <tr> <th>対 象</th> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>R.3年4月1日～R4.3.31日</td> <td>33</td> <td>490</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 大子西児童クラブ</p> <table border="1" data-bbox="555 869 1385 958"> <thead> <tr> <th>対 象</th> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>R.3年4月1日～R4.3.31日</td> <td>39</td> <td>872</td> </tr> </tbody> </table>	対 象	期 間	回数	延べ人数	中学生	R.3年4月～R.4年3月	34	231	対 象	期 間	回数	延べ人数	小・中学生	R3年6月～R.4年3月	44	141	対 象	期 間	回数	延べ人数	中学生	R.3年4月～R.4年3月	35	110	対 象	期 間	回数	延べ人数	小学生	R.3年4月1日～R4.3.31日	33	490	対 象	期 間	回数	延べ人数	小学生	R.3年4月1日～R4.3.31日	39	872
対 象	期 間	回数	延べ人数																																						
中学生	R.3年4月～R.4年3月	34	231																																						
対 象	期 間	回数	延べ人数																																						
小・中学生	R3年6月～R.4年3月	44	141																																						
対 象	期 間	回数	延べ人数																																						
中学生	R.3年4月～R.4年3月	35	110																																						
対 象	期 間	回数	延べ人数																																						
小学生	R.3年4月1日～R4.3.31日	33	490																																						
対 象	期 間	回数	延べ人数																																						
小学生	R.3年4月1日～R4.3.31日	39	872																																						
<p>6 人材バンクの運営</p> <p>茨城県生涯学習・社会教育研究会と連携した人材バンクの運営 (0円)</p>	<p>(1) 県内の学校が実施する講演会に講師を派遣した。 常陸大宮市立明峰中学校(12月4日) インターネット安全教室 内容:インターネット上で起こりうる人権侵害等について 演演:「ネット社会に潜む危険」 ～加害者にも被害者にもならないために～ 対象:中学1年 生徒及び保護者・教職員合わせて約150人</p> <p>(2) 「親子ふれあいクルーズin北海道」へ指導者の派遣 ※新型コロナウイルス感染拡大により、依頼なし</p> <p>(3) 夏休みいばらき子ども大学につぼん丸ファミリークルーズ ※新型コロナウイルス感染拡大により、依頼なし</p> <p>(4) 体験活動講師紹介人材バンク ひとMATCH事業 関係団体と連携して、学校や団体等へ講師を派遣した。 派遣回数:19回 参加人数:665人</p>																																								
<p>7 県南生涯学習センターの管理運営</p>	<p>(1) 生涯学習に関する情報の収集・整理・提供及び相談 ・相談件数総数 553件 主な内容 (施設情報、講座情報、イベント情報、団体・グループ情報) ・ホームページアクセス数 124,488件</p>																																								

県から指定管理を受けて実施する県南生涯学習センターの管理運営

(122,617,969 円)

(2) 現代的課題解決

区分	主な内容	概要・実績
指定事業 課題解決チャレンジ事業	各地域や市町村の抱える様々な現代的・地域課題について、その解決に向けて必要な人材の育成や関係団体の連携・ネットワークの構築等の具体的取組を行い、モデルとなる実践的な活動にチャレンジする。また、地域住民が地域の課題解決に主体的にかかわることができる体制づくりを支援する。	1 チャレンジ課題:「多世代交流拠点づくりを通して中心市街地の活性化」 2 テーマ:IR土浦駅周辺をフィールドに、空き店舗等を利用した多世代交流スペースを設置し、ここを拠点とした様々な活動を実施することで各世代の悩みを解消し、町の賑わいと人々の明日への活力を創出する。 3 実績 ① 土浦駅近隣施設による中心市街地活性化のための意見交換会の開催:5回 ② 他業種・多世代と協働したイベント「つちうらであそぼ・まなぼ」の開催 ・8月21日(土)オンライン 参加者数 50人 ・12月4日(土)18日(土) 来場者:12/4 314人 来場者:12/18 336人

(3) 人材・団体育成

区分	主な内容	対象	受講者数(延べ)
指定事業 地域の核となる人材・団体育成事業	現代的・地域課題を解決していくために必要な研修等を実施し、様々な場所で活動できる地域の核となる人材及び団体の育成を図る。	県民	2講座 54人(135人)

(4) 各関係機関との連携協働

区分	主な内容	対象	参加者数
指定事業 地域連携協働事業創出事業	教育事務所や地域で活躍している各事業実施機関と交流を図り、ネットワークを構築し、連携事業や協働事業の創出を図る。	市町村職員等	2回 51人

(5) ボランティア育成

区分	主な内容	対象	参加者数
指定事業 生涯学習ボランティアセンター事業	「生涯学習ボランティアセンター」を設置し各地域のボランティア活動の推進を図る。これまでのボランティア総合センターとして活動した実績を生かし、それ以外のボランティアセンターを先導しながらボランティア活動の推進を図る。	県民	ボランティア養成研修:11人 学校支援ボランティア研修:6人 ヤングボランティアを指導する成人の育成研修:14人 ボランティアコーディネーター連絡協議会:1回14人 ボランティア派遣人数:245人

指定事業 ヤングボランティア 育成事業	中学生、高校生等を対象にボランティア活動についての基本的な学習の場と機会を提供し、学んだ知識・技能を地域で生かせるようにする。	県民	ヤングボランティア育成研修:450人 ヤングボランティア実践研修:36人(延べ70人)
---------------------------	---	----	--

(6) 生涯学習機会の提供

区分	主な内容	講座数	受講者数(延べ)
指定事業 セカンドキャリア 教育事業	中高年の早期リタイヤや定年退職後のキャリア、出産・育児後の女性の社会復帰等、転職や復職、起業に関する講座等を開設し、キャリア探しのために様々な職業に対する関心を高める機会や第二の人生における職業を考える機会を提供する	3	38人(155人)
指定事業 現代的課題対策 講座	大学等の研究者や高度な知識・技術をもつ専門家等を講師として、県民の学習ニーズに対応した現代的課題対策等に関する学習機会を提供する。その学習成果を適切に評価し、人づくり、地域づくりの推進を図る。	8	252人(1,104人)

(7) 自主事業

区分	主な内容	講座数	受講者数(延べ)
若者のトップランナー育成「The earth college」事業	「持続可能な開発目標SDGs」を中心とした世界や茨城の様々な事象に興味関心をもち、学び・創造する芽を育て、茨城でキャリアを築く若者トップランナーを育成する。	1	小・中学生 32人 (延べ166人)
ウララプログラミング 推進事業	プログラミング学習をとおして、子どもたちの理論的思考力、問題解決能力、想像力等の「プログラミング的思考力」を伸ばし、変化の激しいグローバル社会を「生き抜く力」を醸成する一助とする。	3	小学生、保護者168人(延べ392人)
天章堂講座	生涯にわたって心豊かに生きがいを持って生活することができるよう、社会の要請や県民の学習ニーズに対応した文化・生活・歴史に関する講座を開設し、生涯学習の一層の普及・啓発を図る。	3	県民135人 (延べ273人)

(8) 学習の場の提供

・学習コーナーの運営

エントランス及び図書コーナーの一部を開放し終日学習の場の提供を行った。

稼働日数:260日 使用人数:1,914人

・学習内容に応じ、小講座室、中講座室その他館内各施設を学習の場として提供した。

施設名	利用件数	利用者数(人)
小講座室 1	167	2,443
小講座室 2	200	2,284
小講座室 3	341	1,711
小講座室 4	241	1,240
中講座室 1	134	3,733
中講座室 2	256	3,599
和室講座室1	148	1,349
和室講座室2	117	719
創作室	139	1,092
音楽室	81	292
軽運動室	253	2,892
多目的ホール	156	11,428
ホール控室	75	416
計	2,308	33,198

(9) 施設・設備の維持管理

利用者が安全かつ快適に施設を利用できるように、施設の機能と環境を常に良好な状態に保つことを目指し維持・管理を行った。

(主な改修工事)

- ・ 映写室空調機修繕
- ・ 中講座室2空調機修繕
- ・ 冷却水循環ポンプ修繕
- ・ 冷温水機発生器修繕
- ・ グランドピアノキャスター等修繕
- ・ ラウンジ用空調機ベアリング交換
- ・ センター空調機Vベルト交換
- ・ ラウンジ用空調機高性能フィルター交換

7 白浜少年自然の家の管理運営

県から指定管理者として委託を受けて実施する白浜少年自然の家の管理運営

(93,088,897 円)

青少年教育施設として、研修受入・貸館事業と指定事業・提案事業等の主催事業の両立を目指し、事業計画をした。また、食堂業務の適切な管理運営を目指した。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、利用者受入れの停止や利用変更、利用辞退など影響が大きかった。特に今年度は、宿泊活動から日帰り活動に変更する団体が目立った。コロナ禍の中であったが、感染防止対策を行い、指定事業と提案事業については全て実施した。

(1)

研修受入・貸館事業

	利用団体数	利用実人数	利用延人員
宿泊研修	49	2,742人	5,567人
日帰り研修	127	6,000人	6,000人
計	176	8,742人	11,567人

(2)

指定事業

事業名	実施期日	参加数(人)
元気いばらきっ子育成事業		
家族でつりを楽しもう	5/15	80
家族でキャンプを始めてみよう	6/5~6	86
親子でプログラミング・ロボット編	6/19・10/31	80
ハートフルin白浜	12/5	37
門松づくり	12/18 ~19	250
自然を楽しもう！ キッズアドベンチャーデジタルキャンプ	12 /25 ~26	18
適応指導教室対象講座 ウオームアップ白浜	1/6	17
イングリッシュキャンプ	3/5	13
夜空の星を見てみよう	3/6	51
家族で手打ちうどんを作ろう	3/12	41
教員を目指す大学生の野外活動 実習事業	3/2~6	50

(3)

提案事業

事業名	実施期日	参加数(人)
ヤングボランティア研修会	4/25	87
白浜子ども会議	3/8	14
白浜ボランティア友の会	5/23・6/5~6	15
利用団体・団体指導者研修会	8/2	32
行方市子ども会まつりin白浜	3/20	14
調査研究事業	通年	調査団体113

(4)

自主事業

事業名	実施期日	参加数(人)
白浜フェスティバル(春)	5月	感染症拡大防止のため中止
庭木の手入れを学ぼう	6/12・12/11	35

子どものデジタルアーキivist養成講座	7・9・10月	感染症拡大防止のため中止
休日は白浜で遊ぼう	7/18・11/7	61
子ども会育成支援事業	11/7	13
白浜ゲートボール大会	11月	感染症拡大防止のため中止
チャレンジキャンプ in 白浜 3施設交流会	12月	感染症拡大防止のため中止
ひとりキャンプ	1～3月土・日	7
白浜グランドゴルフ交流会	2月	感染症拡大防止のため中止
行方市グランドゴルフ大会in白浜	2月	感染症拡大防止のため中止
白浜フェスティバル(冬)	3/20	19
白浜アピール事業	通年	1500

- (5) 施設・設備の維持管理
 利用者が、安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設・設備の機能や自然環境等を常に良好に保つことを目指して維持管理に努めた。

(主な改修工事・整備等)

- ・ 宿直室浴室ガス接続工事
- ・ 所長室エアコン配管工事
- ・ 女子浴室系統ボイラ修繕工事
- ・ 内線電話機配線移設工事
- ・ 火災通報装置用電話回線接続変更工事
- ・ 野外炊飯電源改修工事
- ・ 大判プリンター修理
- ・ つつじが丘アスレチック腐食吊橋解体工事
- ・ 腐食樹木伐採作業
- ・ 大浴場周り防犯整備(ダミーカメラの設置・防犯砂利)

- (6) 食堂業務
 新型コロナウイルス感染症予防対策としてテーブルを6人掛けから4人掛けとし、パーテーションを設置、手指用消毒液等を常備した。
 食の安心・安全を確保するため、管理栄養士を配置し、食物アレルギーに配慮するなど、適切な食堂運営を心掛けた。
 また、野外炊飯場において安心・安全を鑑み、食器を使い捨て容器に変更した。

8 法人事務局の
管理運営

法人の設立目的
達成のため、企画
運営及び各種会
議の開催

(25,042,916円)

- (1) 通常総会の開催
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため書面決議で実施
- (2) 理事会の開催
定例 11回